32×1,16×1 1バスモニターセレクトパネル

MTX-70UP-321, 161

32×1,16×1 1BUS MONITOR SELECT PANEL

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

VIDEOTRON®

この製品を安全にご使用いただくために

警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1）電源プラグ、コードは

・定格で定められた電源以外は使用しないでください。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。

・電源コードの上に重い物を載せないでください。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2）本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・空調設備を確認してください。

・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。

・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3）修理等は、弊社サービスにお任せください

・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。

・故障の場合は、弊社　サポートセンターへご連絡ください。

4）その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。

・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。

・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。

注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1）機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
　また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2）外部記憶メディア対応の製品では

・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクターの故障の原因になります。
　マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします

・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
　また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
　安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。
　期間、費用等につきましては弊社　サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社　サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

① 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

(1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。

(2)適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。

(3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。

(4)当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。

(5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

(1)生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。

(2)交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。

(3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4)落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

(1)製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。

(2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために …… I
保証規定 …… III
1. 概 説 …… 1
《特 長》 …… 1
2. 機能チェック …… 2
1. 構 成 …… 2
2. POWERON までの手順 …… 2
3. 基本動作チェック …… 3
3. 各部の名称と働き …… 4
4. 操作方法 …… 7
1. クロスポイント切り替え …… 8
2. メニュー …… 10
3. サルボ送信 …… 16
4. SLEEP …… 16
5. パネルロック …… 17
6. その他の機能と操作 …… 17
7. サルボ送信固定モードについて …… 20
5. トラブルシューティング …… 21
6. 仕 様 …… 22
1.機 能 …… 22
2.定 格 …… 23
3.性 能 …… 23
7. 外形図 …… 24

1. 概　説

MTX-70UP-321、MTX-70UP-161はMTX-70H-7272、MTX-70U-3232、MTX-70U-1616、MTX-70-1616HB、MTX-70-168HB、MTX-70-88HB、MTX-70-44HB、MTX-70U-168、MTX-70AES-168、MTX-70U-88、 MTX-70U-42、MTX-70-168、MTX-70-164、MTX-70-88、MTX-70-84、MTX-70-42（以下、「マトリックススイッチャー」とします）対応のSNMP経由で制御が行えるネットワークリモートコントロールパネルです。

《特　長》

●SNMP によるネットワーク経由の制御

●MTX-70 シリーズの多くのマトリックススイッチャーに対応

●32/16 個の入力ソースボタンによるクロスポイント切り替え

●MTX-70UP-321 は 2BUS/DIRECT 選択を搭載(MTX-70H-7272 制御時を除く)

●任意の複数出力チャンネルのクロスポイントを切り替えるサルボ送信機能を搭載※1

●マトリックススイッチャーのプリセットの読み出しが可能

●ボタンの点滅により入力信号が無くなったことを伝える、入力信号モニター機能 ※2

●1台のVbus筐体に対し同一ネットワークから20台以上のMTX-70UP-321,161接続をサポート※3

※1 SNMPで機能を実現しているため出力CHによってクロスポイント切り替えタイミングに数フレームのずれが生じます。

※2 入力信号モニター機能は対応マトリックススイッチャー(MTX-70Uシリーズ、HBシリーズ、MTX-70H-7272)に接続した場合のみ有効になります。

※3 検証済み24台、ネットワークの状況により変動します。

2. 機能チェック

1. 構 成

【MTX-70UP-321】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	32×11バスモニターセレクトパネル	MTX-70UP-321	1台	
2	電源ケーブル	2m	1本	
3	マウントビス	5mm	4本	
4	取扱説明書		1部	本書

【MTX-70UP-161】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	16×11バスモニターセレクトパネル	MTX-70UP-161	1台	
2	電源ケーブル	2m	1本	
3	マウントビス	5mm	4本	
4	取扱説明書		1部	本書

2. POWERONまでの手順

(1) 電源ケーブルを本体に正しく接続します。

(2) 電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。

(3) 本体背面の電源スイッチをONにします。

(4) 本体正面のスイッチとディスプレイが点灯します。

(5) ディスプレイに機種名が表示されます。

(6) 機種名表示からクロスポイント切り替えに切り替わります。

3. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。正常に動作しない場合は 「5. トラブルシューティング」を参照してください。

（1）前項の「POWER ONまでの手順」に従いそれぞれのケーブルを接続します。

（2）本体背面のLANコネクターと制御先Vbus筐体をLANケーブルで接続します。
ハブ経由の接続でも、クロスケーブルによる直接接続でも構いません。

（3）MTX-70UP-321、MTX-70UP-161と制御するMTX-70シリーズマトリックススイッチャーが実装されている筐体の電源を投入します。

（4）IPアドレスを設定します。MENU ボタンを長押ししメニュー選択画面に入ります。
15 ▼ 16 ▲ ボタンで[LAN]を選択しSET ボタンを押します。
[LAN]メニュー内の[IP ADRS][SUB MASK][GATEWAY]を設定します。
設定する項目を選択しSET ボタンを押します。
それぞれ[IP1][IP2][IP3][IP4]を13 ◀ 14 ▶ ボタンで選択し15 ▼ 16 ▲ ボタンで値を設定します。
4つの値が設定出来たらSET ボタンを押します。

(5)コミュニティ名を設定します。[LAN]メニュー内の[COM NAME]を選択します。
13 ◀ 14 ▶ ボタンで文字を挿入または削除したい場所にカーソルを移動します。
15 ▼ 16 ▲ ボタンで挿入する文字を選択するか12 DEL ボタンで削除します。
SET ボタンを押します。

(6)MENU ボタンを複数回押しクロスポイント切り替えに戻ります。

(7)設定したIPアドレスで再起動するため、いったんMTX-70UP-321、MTX-70UP-161の電源を切り再度投入します。

(8)次に接続先とするマトリックススイッチャーと筐体のIPアドレスを設定します。
[MTX TYPE]メニューから接続先のマトリックススイッチャーのモデルを選択します。
[MTX ADDR]メニューから[MAIN IP]を選択して(4)の手順と同様にIPアドレスとスロット番号を設定します。
(4)の手順と同じですが項目の最後に[SLOT]が追加されています。マトリックススイッチャーをセットした筐体のスロット番号を設定してください。

(9)正しく設定され通信が確立するとSTATUSランプが緑色に点灯します。

3. 各部の名称と働き

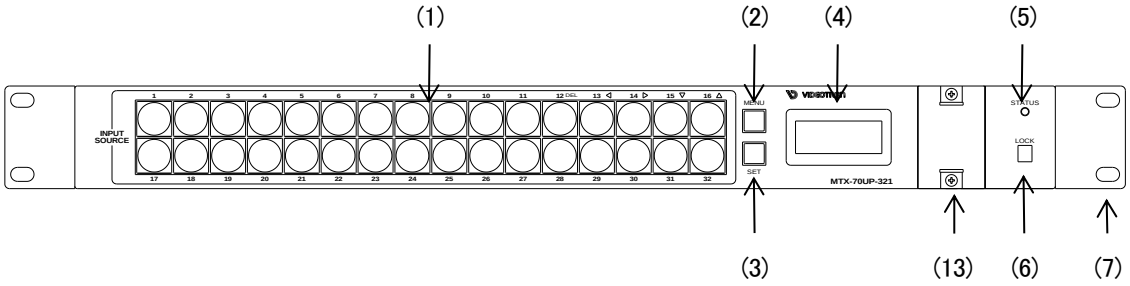


図 3.1 MTX-70UP-321 正面図

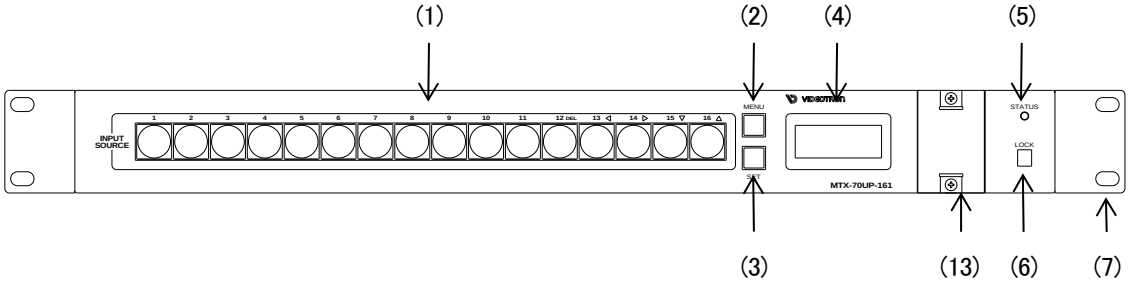


図 3.2 MTX-70UP-161 正面図

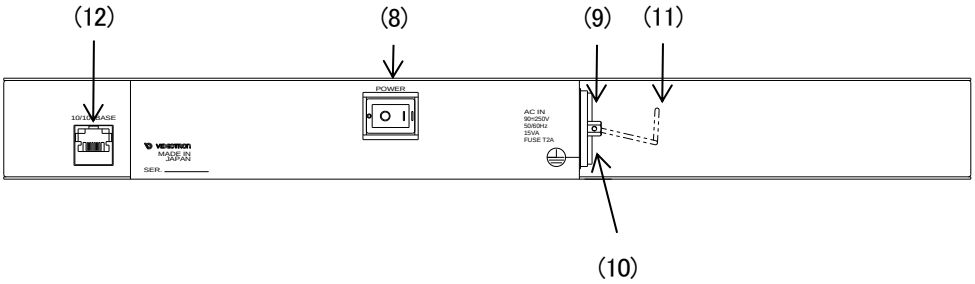


図 3.3 MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 背面図

(1) 入力ソースボタン(兼 DEL/LEFT/RIGHT/DOWN/UPボタン)

入力ソースを選択するボタンです。選択しているボタンが発光します。

また、MTX-70UP-321 の DIRECT 選択では下段のボタンを出力選択として使用します。「4.1.(3)DIRECT 選択(MTX-70UP-321)」を参照してください。

MENU では DEL/LEFT/RIGHT/DOWN/UP ボタンも兼ねています。また、サルボ送信、プリセット読み込み、INHIBIT 設定、ボタン色設定にも使用します。

入力ソースボタンを押しながら、電源を投入すると、電源投入時設定を行います。「4.6.(5)電源投入時設定」を参照してください。

(2) メニュー選択ボタン

長押しでメニュー機能を起動します。またサルボ送信が有効な場合サルボ送信の起動に使用します。

MTX-70H-7272 制御時、ページ送りボタンとして機能します。

(3)　SETボタン

メニューの選択を決定します。また 16CH を超えるコントローラ(MTX-70U-3232)を制御する場合は 17CH 以降の選択に使用します。「表 1 マトリックススイッチャーの設定と入出力チャンネル数、入力信号モニター機能」を参照してください。

MTX-70H-7272 制御時、ページ戻し(サルボ送信有効時は送り)ボタンとして機能します。

(4)　表示器

メニューの設定項目や、入出力チャンネルの状態を表示します。

MTX-70H-7272 制御時、ページ番号と選択ソースの範囲、ソース番号、ディスティネーション番号を表示します。

(5)　STATUSランプ

MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 とマトリックススイッチャーの通信が確立した状態の時、緑色に点灯します。

赤色点滅時は、操作ができません。接続、設定に問題が無いか確認してください。

(6)　パネルロックスイッチ

MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 の操作を禁止します。基本的な操作は禁止されますが選択された出力に設定されているクロスポイントを確認することができます。「4.5. パネルロック」を参照してください。

(7)　ラックマウントねじ取り付け穴

ラックマウントする際に使用します。

(8)　パワースイッチ

電源スイッチです。

(9)　ヒューズホルダー

ヒューズホルダーの下部に引出口があり、マイナスドライバーを使用してヒューズホルダーを引き出すことができます。ヒューズホルダーの中には予備ヒューズが一個装着されています。

(10) ACインレット

電源ケーブルを接続します。

(11) 電源ケーブル固定金具

電源ケーブルの抜け防止です。運用時は、必ず電源ケーブルを固定してお使いください。

(12) LAN コネクター

SNMP 制御用の LAN コネクターです。制御対象のネットワーク接続に使用します。

（13）メンテナンスカバー

メンテナンス用のカバーです。ネジを締めた状態でお使いください。

4. 操作方法

MTX-70UP-321、MTX-70UP-161はパネルロックスイッチOFFで電源を投入するとサルボ送信固定モードに設定されていない場合クロスポイント切り替え可能な状態で起動します。パネルロックスイッチがONの場合はハードウェアロック状態で起動します。(*1)

各状態と遷移は以下の図を参照してください。

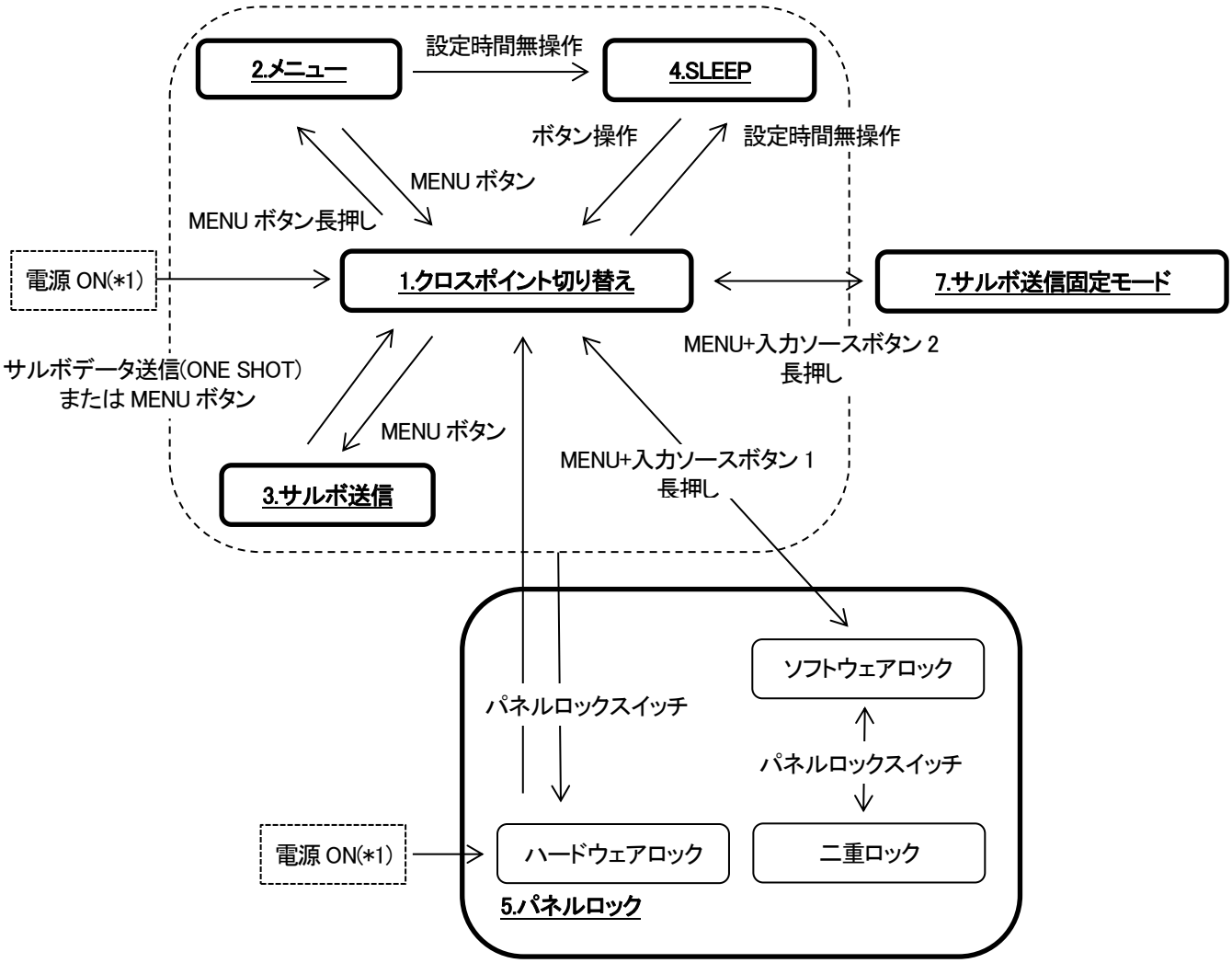


図 4 状態遷移図

1. クロスポイント切り替え

MTX-70UP-321はクロスポイント切り替え方法に1BUS、2BUS、DIRECT選択の3つのモードがあります。(MTX-70UP-161、MTX-70H-7272制御時、は1BUSのみ)

（1） 1BUS

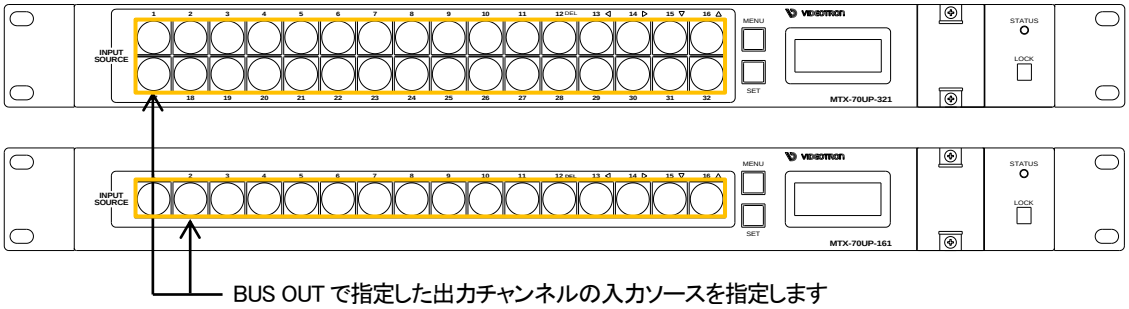


図 4.1.1 1BUS 時の入力ソースボタン

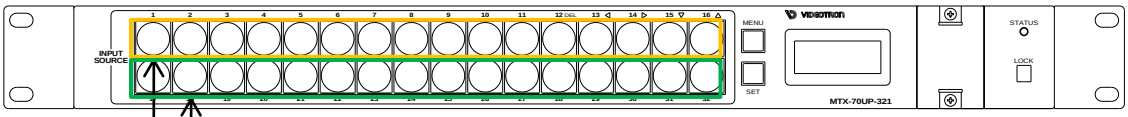
[BUS MODE](MTX-70UP-321)、[BUS CONF](MTX-70UP-161)メニューの[BUS OUT]で設定した出力チャンネルに対する入力ソースを入力ソースボタンで選択します。

選択された入力の入力ソースボタンが点灯します。

MTX-70H-7272 制御時は入力チャンネルが複数のページにまたがります。SET(MENU)ボタンで表示ページを切り替えてください。

また[BUS MODE](MTX-70UP-321)、[BUS CONF](MTX-70UP-161)メニューの[INI PAGE]で起動時に表示するページを常にページ 1[PAGE-1]、または現在選択されている入力チャンネルを含むページ[CROSS P.]に設定出来ます。

（2） 2BUS(MTX-70UP-321)



BUS1 OUT で指定した出力チャンネルの入力ソースを上段の入力ソースボタンで、BUS2 OUT で指定した出力チャンネルの入力ソースを下段の入力ソースボタンで指定します

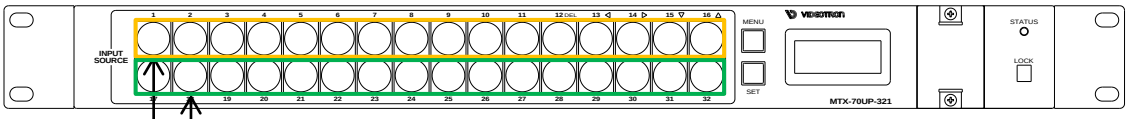
図 4.1.2 2BUS 時の入力ソースボタン

入力ソースボタンを上下 2 段に分け上段、下段別々に設定した出力チャンネルの入力ソースを選択します。

出力先チャンネルは[BUS MODE]メニューの[BUS1 OUT](上段)、[BUS2 OUT](下段)で設定します。

選択された入力ソースボタンが点灯します。

（3） DIRECT選択(MTX-70UP-321)



下段の入力ソースボタンで指定した出力チャンネルの入力ソースを上段の入力ソースボタンで指定します。

図 4.1.3 DIRECT 選択時の入力ソースボタン

入力ソースボタンを上下 2 段に分け下段ボタンを出力選択ボタンとして使用します。下段ボタンで出力チャンネルを選択し上段ボタンで入力ソースを切り替えます。出力ボタンを選択すると現在の入力ソースに対応する上段の入力ソースボタンが点灯し現在のクロスポイントが確認できます。(下段ボタンを押しただけではクロスポイントは変わりません)

[BUS MODE](MTX-70UP-321)、[BUS CONF](MTX-70UP-161)メニューの[INI PAGE]で起動時に表示するクロスポイントを常に出力 1[PAGE-1]、最後に選択した出力[CROSS P.]に設定出来ます。

いずれのモードでも接続するマトリックススイッチャーとその PAIRING 設定(入出力チャンネル数)により有効なボタン数、出力チャンネル設定範囲が変わります。

MTX-70UP-321 の 1BUS を除く各モードで SET ボタンを押しながら入力ソースボタン 1-16 を押すと入力 17-32 チャンネルを選択できます。

入力信号モニター機能を搭載したマトリックススイッチャーに接続し入力信号が無い場合入力ソースボタンが点滅します。

コントローラ製品名	MTX TYPE メニュー表記	PAIRING設定						入力信号モニター
		NORMAL		QUAD/4K		DUAL		
		入力	出力	入力	出力	入力	出力	
MTX-70H-7272	70H-7272	72	72	18	18	36	36	○
MTX-70U-3232	70U-3232	32	32	8	8	16	16	○
MTX-70U-1616	70U-1616	16	16	4	4	8	8	○
MTX-70-1616HB	1616HB	16	16	4	4	8	8	○
MTX-70-168HB	70-168HB	16	8	4	2	8	4	○
MTX-70-88HB	70-88HB	8	8	2	2	4	4	○
MTX-70-44HB	70-44HB	4	4	-	-	-	-	○
MTX-70U-168	70U-168	16	8	4	2	8	4	○
MTX-70AES-168	AES-168	16	8	4	2	8	4	○
MTX-70U-88	70U-88	8	8	2	2	4	4	○
MTX-70U-42	70U-42	4	2	-	-	-	-	○
MTX-70-168	70-168	16	8	4	2	8	4	-
MTX-70-164	70-164	16	4	4	1	8	2	-
MTX-70-88	70-88	8	8	2	2	4	4	-
MTX-70-84	70-84	8	4	2	1	4	2	-
MTX-70-42	70-42	4	2	-	-	-	-	-

表 1 マトリックススイッチャーの設定と入出力チャンネル数、入力信号モニター機能

2. メニュー

メニューツリー

メニュー	説明
TOP MENU	
├BUS MODE	バスモードを設定します(MTX-70UP-321MTX TYPE MTX-70H-7272以外時)
├1BUS	1BUS(全ての入力ソースボタンを1つの出力に割り当てます)
├BUS OUT	クロスポイントを切り替える出力チャンネルを設定します
└CH01-32	CH1-32が選択できます、マトリックススイッチャーの機種/状態により選択肢が増減します
└COLOR	入力ソースボタンの色を設定します
└SELECT	1緑/2黄/3赤のボタンから選択します
├2BUS	2BUS(上下段の入力ソースボタンを2つの出力に割り当てます)
├BUS1 OUT	上段入力ソースボタンでクロスポイントを切り替える出力チャンネルを設定します
└CH01-32	
├BUS2 OUT	下段入力ソースボタンでクロスポイントを切り替える出力チャンネルを設定します
└CH01-32	
└COLOR	上下段のボタン色を指定します
└SELECT	1緑/2黄/3赤/17緑/18黄/19赤ボタンから選択します
├DIRECT	ダイレクト選択(上段入力/下段出力)
└COLOR	上下段のボタン色を指定します
└SELECT	1緑/2黄/3赤/17緑/18黄/19赤ボタンから選択します
└INI PAGE	起動時の表示ページを指定します
├PAGE-1	起動時常にページ1を表示します(MTX TYPE MTX-70H-7272時)、ダイレクト選択での起動時は常にOUT1を選択します
└CROSS P.	起動時現在のクロスポイントがあるページを表示します(MTX TYPE MTX-70H-7272時)、ダイレクト選択では前回電源断時選択されていたOUTが選択された状態で起動します
├BUS CONF	バス設定をします(MTX-70UP-161またはMTX-70UP-321のMTX TYPE MTX-70H-7272時)
├BUS OUT	クロスポイントを切り替える出力チャンネルを設定します
└CH01-72	CH1-72が選択できます、マトリックススイッチャーの機種/状態により選択肢が増減します
├COLOR	入力ソースボタンの色を設定します
└SELECT	1緑/2黄/3赤のボタンから選択します
└INI PAGE	MTX TYPE MTX-70H-7272時の起動時の表示ページを指定します
├PAGE-1	起動時常にページ1を表示します
└CROSS P.	起動時現在のクロスポイントがあるページを表示します
├INHIBIT	入力INHIBITを設定します
└CH01-72	INHIBIT設定する出力チャンネルを設定します
└PAGE1-5	MTX TYPE MTX-70H-7272時およびMTX-70UP-161とMTX-70U-3232の組み合わせ時のみ表示され設定します
├LAN	LANに関連する設定をします
├IP ADRS	MTX-70UP-321,161のIPアドレスを設定します
└IP1 0-255 IP2 IP3 IP4	◂▸ボタンで選択しIP1(第一バイト)からIP4 (第四バイト)を▲▼ボタンで設定します
├SUB MASK	サブネットマスクを設定します
└IP1 0-255 IP2 IP3 IP4	
├GATEWAY	デフォルトゲートウェイアドレスを設定します
└IP1 0-255 IP2 IP3 IP4	
├PHY MODE	PHY MODE
├AUTO	Auto Negotiation/100M Full/100M Half/10M Full/10M Halfを選択できます。
├100 FULL	
├100 HALF	
├10 FULL	
└10 HALF	
├COM NAME	SNMPのコミュニティー名を設定します
└LINE EDITOR	◂▸ボタンで挿入/削除する位置を選択し▲▼で挿入、delで削除します
└MAC ADRS	MACアドレスを表示します
└ADDRESS DISPLAY	

```
├─MTX TYPE ──────────────────────────── 制御するMTXマトリックススイッチャーを設定します
│   ├─70H-7272 ──────────────────────── MTX-70H-7272を設定します
│   ├─70U-3232 ──────────────────────── MTX-70U-3232を設定します
│   ├─70U-1616 ──────────────────────── MTX-70U-1616を設定します
│   ├─1616HB ────────────────────────── MTX-70-1616HBを設定します
│   ├─70-168HB ──────────────────────── MTX-70-168HBを設定します
│   ├─70-88HB ───────────────────────── MTX-70-88HBを設定します
│   ├─70-44HB ───────────────────────── MTX-70-44HBを設定します
│   ├─70U-168 ───────────────────────── MTX-70U-168を設定します
│   ├─AES-168 ───────────────────────── MTX-70AES-168を設定します
│   ├─70U-88 ────────────────────────── MTX-70U-88を設定します
│   ├─70U-42 ────────────────────────── MTX-70U-42を設定します
│   ├─70-168 ────────────────────────── MTX-70-168を設定します
│   ├─70-164 ────────────────────────── MTX-70-164を設定します
│   ├─70-88 ─────────────────────────── MTX-70-88を設定します
│   ├─70-84 ─────────────────────────── MTX-70-84を設定します
│   └─70-42 ─────────────────────────── MTX-70-42を設定します
│
├─MTX ADDR
│   ├─MAIN IP ───────────────────────── 制御対象となるメインのMTXの筐体IPアドレス、スロット番号を設
│   │                                   定します
│   │   └─IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 SLOT 1-10 ◀▶ボタンで選択しIP1からIP4およびスロット番号を▲▼ボタンで
│   │                                   設定します
│   ├─SUB1 IP ───────────────────────── メインと同じ制御をおこなう2台目のMTXの筐体IPアドレス、ス
│   │                                   ロット番号を設定します、IP1に0を指定すると設定なしとなりま
│   │                                   す
│   │   └─IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 SLOT 1-10
│   │     :
│   └─SUB3 IP ───────────────────────── メインと同じ制御をおこなう4台目の設定を行います
│       └─IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 SLOT 1-10
│
├─PRESET ────────────────────────────── プリセットを送信します
│   └─PUSH NO. ──────────────────────── プリセット番号を入力ソースボタンで指定します、SETボタンで設
│                                       定します
│
├─SALVO ─────────────────────────────── サルボに関連する設定をします
│   ├─MODE ──────────────────────────── サルボモードを設定します
│   │   ├─DIABLE ────────────────────── 禁止(サルボ送信は動作しません)
│   │   ├─ONE SHOT ──────────────────── サルボを1回送信するとクロスポイント切り替えに戻ります
│   │   └─CONTINUE ──────────────────── 連続してサルボ送信ができます MENUキーで終了します
│   └─EDIT ──────────────────────────── サルボデータの作成/編集をします
│       ├─SALVO 01 ──────────────────── SALVO01の編集をします
│       │   └─OUT01 OUT02 - OUT32      ◀▶ボタンで出力チャンネルを選択し入力チャンネルを▲▼ボタン
│       │                               で設定しますDELボタンで未設定状態にします
│       ├─SALVO 02
│       │   └─OUT01 OUT02 - OUT32
│       │ :
│       └─SALVO 16
│           └─OUT01 OUT02 - OUT32
│
├─BEEP ──────────────────────────────── 操作音の設定をします
│   ├─ON ────────────────────────────── 操作音をONに設定します
│   └─OFF ───────────────────────────── 操作音をOFFに設定します
│
├─SLEEP TM ──────────────────────────── スリープに入る時間を設定します
│   ├─NONE ──────────────────────────── スリープに入りません
│   ├─10MIN ─────────────────────────── 最後の操作から10分スリープに入ります
│   ├─30MIN
│   └─1HOUR
│
└─VERSION ──────────────────────────── バージョン表示を行います
    └─VERSION DISPLAY
```

メニュー詳細

クロスポイント切り替えで MENU ボタンを長押しするとメニューに移行し各種メニューが表示されます。

メニューを抜けクロスポイント切り替えに戻るには現在のメニュー階層の位置によって数回 MENU ボタンを押します。

設定項目は SET ボタンで確定、MENU ボタンで破棄されます。

メニュー表示中はメニュー設定に有効な入力ソースボタン(DEL◀▶▲▼)が点灯します。

(1) TOP MENU

クロスポイント切り替えから MENU ボタンを長押ししたときに表示される最上位のメニューです。表示器の上段に[TOP MENU]、下段に選択肢が表示されるので▲▼ボタンで項目を選択し SET ボタンで確定します。

MTX-70UP-321 で MTX TYPE が MTX-70H-7272 以外の時は[BUS MODE]、MTX TYPE が MTX-70H-7272 の時または MTX-70UP-161 は[BUS CONF]が選択できます。

```
TOP MENU
  ├─BUS MODE ──────────────────────────────── バスモードを設定します(MTX-70UP-321MTX TYPE MTX-70H-7272以外
  │                                            時のみ)
  ├─BUS CONF ──────────────────────────────── バス設定をします(MTX-70UP-161またはMTX-70UP-321のMTX TYPE
  │                                            MTX-70H-7272時のみ)
  ├─INHIBIT ───────────────────────────────── 入力INHIBITを設定します
  ├─LAN ───────────────────────────────────── LANに関連する設定をします
  ├─MTX TYPE ──────────────────────────────── 制御するMTXコントローラのモデルを設定します
  ├─MTX ADDR ──────────────────────────────── MTXコントローラの筐体のIPアドレス、スロット番号を設定します
  ├─PRESET ────────────────────────────────── プリセットを送信します
  ├─SALVO ─────────────────────────────────── サルボに関連する設定をします サルボデータの編集を行います
  ├─BEEP ──────────────────────────────────── 操作音の設定をします
  ├─SLEEP TM ──────────────────────────────── スリープに入る時間を設定します
  └─VERSION ───────────────────────────────── バージョン表示を行います
```

(2) BUS MODE(MTX-70UP-321のみ)

1BUS、2BUS、DIRECT 選択を選択します。また各モードにおける詳細設定を行います。1BUS、2BUS における出力チャンネル、およびボタン色の設定を行います。

```
BUS MODE ────────────────────────────────────── バスモードを設定します(MTX-70UP-321MTX TYPE MTX-70H-7272以外
  │                                            時)
  ├─1BUS ──────────────────────────────────── 1BUS(全ての入力ソースボタンを1つの出力に割り当てます)
  │   ├─BUS OUT ──────────────────────────── クロスポイントを切り替える出力チャンネルを設定します
  │   │   └─CH01-32 ──────────────────────── CH1-32が選択できます、マトリックススイッチャーの機種/状態によ
  │   │                                        り選択肢が増減します
  │   └─COLOR ──────────────────────────── 入力ソースボタンの色を設定します
  │       └─SELECT ──────────────────────── 1緑/2黄/3赤のボタンから選択します
  ├─2BUS ──────────────────────────────────── 2BUS(上下段の入力ソースボタンを2つの出力に割り当てます)
  │   ├─BUS1 OUT ────────────────────────── 上段入力ソースボタンでクロスポイントを切り替える出力チャンネ
  │   │   │                                    ルを設定します
  │   │   └─CH01-32
  │   ├─BUS2 OUT ────────────────────────── 下段入力ソースボタンでクロスポイントを切り替える出力チャンネ
  │   │   │                                    ルを設定します
  │   │   └─CH01-32
  │   └─COLOR ──────────────────────────── 上下段のボタン色を指定します
  │       └─SELECT ──────────────────────── 1緑/2黄/3赤/17緑/18黄/19赤ボタンから選択します
  ├─DIRECT ────────────────────────────────── ダイレクト選択(上段入力/下段出力)
  │   └─COLOR ──────────────────────────── 上下段のボタン色を指定します
  │       └─SELECT ──────────────────────── 1緑/2黄/3赤/17緑/18黄/19赤ボタンから選択します
  └─INI PAGE ──────────────────────────────── 起動時の表示ページを指定します
      ├─PAGE-1 ──────────────────────────── 起動時常にページ1を表示します(MTX TYPE MTX-70H-7272時)、ダイ
      │                                        レクト選択での起動時は常にOUT1を選択します
      └─CROSS P. ────────────────────────── 起動時現在のクロスポイントがあるページを表示します(MTX TYPE
                                               MTX-70H-7272時)、ダイレクト選択では前回電源断時選択されていた
                                               OUTが選択された状態で起動します
```

バスモードについては「4.1. クロスポイント切り替え」を参照してください。

(3) BUS CONF(MTX-70UP-161のみ)

バス設定を行います。出力チャンネル、およびボタン色の設定を行います。

```
BUS CONF ──────────────────────────── バス設定をします(MTX-70UP-161またはMTX-70UP-321のMTX TYPE
│                                     MTX-70H-7272時)
├BUS OUT ──────────────────────────── クロスポイントを切り替える出力チャンネルを設定します
│   └CH01-72 ──────────────────────── CH1-72が選択できます、マトリックススイッチャーの機種/状態によ
│                                     り選択肢が増減します
├COLOR ────────────────────────────── 入力ソースボタンの色を設定します
│   └SELECT ───────────────────────── 1緑/2黄/3赤のボタンから選択します
└INI PAGE ─────────────────────────── MTX TYPE MTX-70H-7272時の起動時の表示ページを指定します
    ├PAGE-1 ────────────────────────── 起動時常にページ1を表示します
    └CROSS P. ──────────────────────── 起動時現在のクロスポイントがあるページを表示します
```

(4) INHIBIT

INHIBIT 設定を行います。出力チャンネルごとに禁止する入力ボタンの設定を行います。

```
INHIBIT ──────────────────────────── 入力INHIBITを設定します
└CH01-72 ─────────────────────────── INHIBIT設定する出力チャンネルを設定します
    └PAGE1-5 ─────────────────────── MTX TYPE MTX-70H-7272時およびMTX-70UP-161とMTX-70U-3232の組み
                                      合わせ時のみ表示され設定します
```

INHIBIT 設定については「4.6.(4)入力 INHIBIT 設定」を参照してください。

(5) LAN

LAN 関連の設定を行います。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレス、PHY モード、

SNMP コミュニティ名の設定、および MAC アドレスの表示を行います。

設定を変更した場合は電源を入れ直してください。

```
LAN ──────────────────────────────── LANに関連する設定をします
├IP ADRS ──────────────────────────── MTX-70UP-321,161のIPアドレスを設定します
│   └IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 ────────── ◀▶ボタンで選択しIP1(第一バイト)からIP4 (第四バイト)を▲▼ボタ
│                                     ンで設定します
├SUB MASK ─────────────────────────── サブネットマスクを設定します
│   └IP1 0-255 IP2 IP3 IP4
├GATEWAY ──────────────────────────── デフォルトゲートウェイアドレスを設定します
│   └IP1 0-255 IP2 IP3 IP4
├PHY MODE ─────────────────────────── PHY MODE
│   ├AUTO ─────────────────────────── Auto Negotiation/100M Full/100M Half/10M Full/10M Halfを選択
│   │                                 できます。
│   ├100 FULL
│   ├100 HALF
│   ├10 FULL
│   └10 HALF
├COM NAME ─────────────────────────── SNMPのコミュニティー名を設定します
│   └LINE EDITOR ─────────────────── ◀▶ボタンで挿入/削除する位置を選択し▲▼で挿入、delで削除しま
│                                     す
└MAC ADRS ─────────────────────────── MACアドレスを表示します
```

(6) MTX TYPE

制御対象となるマトリックススイッチャーの機種設定を行います。

```
MTX TYPE ──────────────────────────── 制御するMTXマトリックススイッチャーを設定します
  ├70H-7272 ──────────────────────── MTX-70H-7272を設定します
  ├70U-3232 ──────────────────────── MTX-70U-3232を設定します
  ├70U-1616 ──────────────────────── MTX-70U-1616を設定します
  ├1616HB   ──────────────────────── MTX-70-1616HBを設定します
  ├70-168HB ──────────────────────── MTX-70-168HBを設定します
  ├70-88HB  ──────────────────────── MTX-70-88HBを設定します
  ├70-44HB  ──────────────────────── MTX-70-44HBを設定します
  ├70U-168  ──────────────────────── MTX-70U-168を設定します
  ├AES-168  ──────────────────────── MTX-70AES-168を設定します
  ├70U-88   ──────────────────────── MTX-70U-88を設定します
  ├70U-42   ──────────────────────── MTX-70U-42を設定します
  ├70-168   ──────────────────────── MTX-70-168を設定します
  ├70-164   ──────────────────────── MTX-70-164を設定します
  ├70-88    ──────────────────────── MTX-70-88を設定します
  ├70-84    ──────────────────────── MTX-70-84を設定します
  └70-42    ──────────────────────── MTX-70-42を設定します
```

(7) MTX ADDR

制御対象となるマトリックススイッチャーの筐体のIPアドレス、スロット番号を設定します。

同一設定の同一機種を最大 4 台まで制御するため IP アドレス、スロット番号は最大 4 つまで設定できます。

◀▶ボタンで設定項目を選択、▲▼ボタンで値を設定します。

[MAIN IP]は必須で、制御対象となるマトリックススイッチャーを指定します。状態の取得はこのマトリックススイッチャーから行います。

[SUB1 IP]-[SUB3 IP]は[MAIN IP]で指定したマトリックススイッチャーと同様の制御を行うマトリックススイッチャーを指定します。使用しない場合は[IP1]に'0'を設定してください。

DEL ボタンでは値を初期化します。[MAIN IP]は[IP1]-[IP3]にネットワークアドレス、[IP4]に'2'が、[SUB1 IP]-[SUB3 IP]は[IP1]に'0'、[IP2]-[IP3]にネットワークアドレス、[IP4]に'3'-'5'が設定されます。(サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合)

[SLOT]はすべて'1'が設定されます。

SETボタンで確定します。

```
MTX ADDR
  ├MAIN IP ──────────────────────── 制御対象となるメインのMTXの筐体IPアドレス、スロット番号を設
  │   │                              定します
  │   └IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 SLOT 1-10  ◀▶ボタンで選択しIP1からIP4およびスロット番号を▲▼ボタンで
  │                                  設定します
  ├SUB1 IP ──────────────────────── メインと同じ制御をおこなう2台目のMTXの筐体IPアドレス、ス
  │   │                              ロット番号を設定します、IP1に0を指定すると設定なしとなりま
  │   └IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 SLOT 1-10
  │     :
  └SUB3 IP ──────────────────────── メインと同じ制御をおこなう4台目の設定を行います
      └IP1 0-255 IP2 IP3 IP4 SLOT 1-10
```

(8) PRESET

マトリックススイッチャーのプリセット読み出しを行います。

```
PRESET ──────────────────────────── プリセットを送信します
  └PUSH NO. ────────────────────── プリセット番号を入力ソースボタンで指定します、SETボタンで設
                                    定します
```

プリセットについては「4.6.(2)プリセット切り替え」を参照してください。

(9) SALVO

サルボ送信機能の設定、サルボデータの作成、編集を行います。

```
SALVO ──────────────────────────── サルボに関連する設定をします
  ├MODE ────────────────────────── サルボモードを設定します
  │  ├DIABLE ────────────────────── 禁止(サルボ送信機能は動作しません)
  │  ├ONE SHOT ─────────────────── サルボを1回送信するとクロスポイント切り替えに戻ります
  │  └CONTINUE ─────────────────── 連続してサルボ送信ができます MENUキーで終了します
  └EDIT ────────────────────────── サルボデータの作成/編集をします
     ├SALVO 01 ─────────────────── SALVO01の編集をします
     │   └OUT01 OUT02 - OUT72      ◀▶ボタンで出力チャンネルを選択し入力チャンネルを▲▼ボタンで
     │                             設定しますDELボタンで未設定状態にします
     ├SALVO 02
     │   └OUT01 OUT02 - OUT72
     │ :
     └SALVO 16
         └OUT01 OUT02 - OUT72
```

サルボについては「4.3. サルボ送信」を参照してください。

(10) BEEP

操作音のあり、なしを設定します。

```
BEEP ───────────────────────────── 操作音の設定をします
  ├ON ──────────────────────────── 操作音をONに設定します
  └OFF ─────────────────────────── 操作音をOFFに設定します
```

(11) SLEEP TIME

スリープに入る時間を設定します。

```
SLEEP TM ───────────────────────── スリープに入る時間を設定します
  ├NONE ────────────────────────── スリープに入りません
  ├10MIN ───────────────────────── 最後の操作から10分スリープに入ります
  ├30MIN
  └1HOUR
```

(12) VERSION

ソフトウェアのバージョンを表示します。▲▼ボタンで項目を選択し SET ボタンで設定項目を選択します。

```
VERSION ────────────────────────── バージョン表示を行います
  └VERSION DISPLAY
```

3. サルボ送信

[MODE]設定は以下の3種が設定できます。

(1) DISABLE

サルボ送信に移行しません。サルボ機能を禁止します。

(2) ONE SHOT ・・・ 表示器に【SALVO O】と表示されます。

サルボ送信に移行し入力ソースボタンを押しサルボデータを送信するとクロスポイント切り替えに戻ります。サルボデータを送信せずにクロスポイント切り替えに戻るには MENU ボタンを押します。

(3) CONTINUE ・・・ 表示器に【SALVO C】と表示されます。

サルボ送信に移行し入力ソースボタンを押しサルボデータを送信後もサルボ送信を継続します。クロスポイント切り替えに戻るには MENU ボタンを押します。

[EDIT]設定はサルボデータの編集ができます。

[SALVO]メニューの[EDIT]から編集する[SALVO(01-16)]を選択します◀▶ボタンで設定する出力チャンネルを選択し▲▼ボタンで設定する入力チャンネルを選択します。

入出力チャンネルの範囲は接続しているマトリックススイッチャーと PAIRING 設定により変化します。

入力チャンネルに[—]を設定するとその出力チャンネルは現在の入力チャンネルから変更されません。

DEL ボタンですべての入力チャンネルが[—]になります。

SET ボタンで確定します。

サルボモードにする方法

【クロスポイント切り替え】の状態で MENU ボタンを押すとサルボ送信に移行します。※図 4 状態遷移図参照

サルボ送信に移行すると SET ボタンと有効なサルボデータが割り当てられた入力ソースボタンが点灯します。

[EDIT]で登録した入力ソースボタンを押してサルボデータを送信します。

4. SLEEP

[SLEEP TM]メニューで設定した時間無操作で経過するとSLEEPに移行します。表示器のバックライトは消灯しますが入力ソースボタンの点灯、点滅は継続します。

何らかの操作を行うとクロスポイント切り替えに戻ります。

時間設定は、なし(SLEEPに移行しない)、10分、30分、1時間が設定できます。

サルボ送信ではSLEEPには移行しません。

5. パネルロック

パネルロックはパネル操作を禁止します。パネルロックには二種類あります。

（1） ソフトウェアロック

パネルロックスイッチ OFF 状態のクロスポイント切り替えで MENU と入力ソースボタン 1 を長押しします。
パネルロックスイッチが点滅します。解除するには再度 MENU と入力ソースボタン 1 を長押しします。
必ず MENU ボタンを先に押してから入力ソースボタンを押してください。
ソフトウェアロックは電源 OFF で解除されます。

（2） ハードウェアロック

任意の状態でパネルロックスイッチを ON にしますパネルロックスイッチが点灯します。
パネルロックスイッチを OFF にするとロックが解除されクロスポイント切り替えに戻ります。

ソフトウェアロック状態でパネルロックスイッチを ON にすると二重ロック状態になります。二重ロック状態でパネルロックスイッチを解除するとソフトウェアロック状態に戻ります。

パネルロック中も現在のクロスポイントを確認するため 17-32 チャンネルを表示するための SET ボタン、DIRECT 選択時の入力ソースボタンの下段(出力選択)は有効です。

6. その他の機能と操作

（1） REMOTE/LOCAL設定

本パネルは、REMOTE/LOCA 切り換えスイッチはありません。
※マトリックススイッチャーのメニュー設定で RS-422 制御の禁止、及び SNMP による設定変更の禁止設定を行っている場合は、リモートパネル上で REMOTE/LOCAL の設定を有効にしても、RS-422、SNMP による制御は無効です。

（2） プリセット切り替え

メニュー[PRESET]を選択し入力ソースボタン 1-16 でプリセット番号を選択し SET ボタンで読み出します。
送信せずに終了する場合は MENU ボタンを押します。

（3） 入力信号モニター機能

入力信号モニター機能に対応したマトリックススイッチャーでは入力ソースボタンが点滅し入力信号が無くなったことを伝えます。

(4)　入力INHIBIT設定

出力チャンネルごとに入力ソースボタンの操作無効/有効の切り替えができます。指定した入力ソースボタンの操作を抑制できます。誤って他系統の入力を選択するのを防ぎます。

ON …　入力ソースボタンの操作を無効にします。

OFF …　入力ソースボタンの操作を有効にします。

メニュー[INHIBIT]から設定する出力チャンネル(通常はクロスポイント切り替えチャンネル)を選択しINHIBIT 設定に入ります。

現在OFFになっている入力ソースボタンが点滅しますので、ONにする入力ソースボタンを押して、消灯させます。入力ソースボタンは、押す毎に OFF と ON が切り替わります。

最後に SET ボタンを押し設定を確定します。設定せず終了する場合は MENU ボタンを押します。各出力チャンネルごとに設定してください。

MTX TYPE が MTX-70H-7272 時および MTX-70UP-161 と MTX-70U-3232 の組み合わせ時は入力設定するためのページが表示されます。

各ページを選択して設定してください。

この設定はパネルの不揮発性メモリに記録されますで、電源を切っても保持されます。

(5)　電源投入時設定

入力ソースボタンを押しながら、電源を投入すると、パネル単体の各種設定ができます。設定が完了すると、1秒間ブザーが鳴りますので、ボタンを離してください。その後、パネルは接続動作に入ります。

入力ソースボタン	設定値
7	入力INHIBIT設定クリア
8	工場出荷時設定

(6)　工場出荷設定

詳細は以下を参照してください。

項目	設定値
BUS MODE	1BUS(MTX-70UP-321)
BUS (1)OUT	CH-01
BUS 2OUT	CH-02(MTX-70UP-321)
BUS (1)COLOR	橙
BUS 2COLOR	緑(MTX-70UP-321)
INI PAGE	PAGE-1
INHIBIT	すべてOFF
IP ADRS	192.168.1.1
SUB MASK	255.255.255.0
GATEWAY	0.0.0.0
PHY MODE	AUTO
COM NAME	VIDEOTRON
MTX TYPE	MTX-70U-3232(MTX-70UP-321)
	MTX-70U-1616（MTX-70UP-161）
MAIN IP	192.168.1.2 SLOT=1
SUB1 IP	0.168.1.3 SLOT=1
SUB2 IP	0.168.1.4 SLOT=1
SUB3 IP	0.168.1.5 SLOT=1
BEEP	ON
SLEEP TM	10MIN

(7)　操作禁止状態

表示器の出力チャンネル表示に[*]が表示されている場合、その出力チャンネルの操作はできません。

以下の確認をしてください

・マトリックススイッチャーの SNMP 設定がDISABLEになっている

・マトリックススイッチャーの SNMP 設定の LOCAL/REMOTE が無効になっている

・マトリックススイッチャーの PAIRING 設定により設定した出力チャンネルが存在しない

・設定した出力チャンネルのマッピングが変更されている

※出力チャンネルのマッピングの変更は MTX-70U-3232/1616 MTX-70H-7272 で機能します。

MTX-70U-3232/1616 以外の機種では出力マッピングの状態は反映しません。

7. サルボ送信固定モードについて

サルボ送信固定モードはサルボ送信に特化したモードでサルボ送信専用機としてご使用いただけます。

クロスポイント切り替えからMENU+入力ソースボタン2の長押しでサルボ送信固定モードとの間を行き来できます。

必ずMENUボタンを先に押してから入力ソースボタンを押してください。

サルボ送信固定モードに入ると表示器に【SALVO　F】と表示されます。

電源OFF時もこのモードを保持するため次回電源ON時もサルボ送信固定モードで起動します。また、サルボ送信固定モードからのパネルロック解除時もサルボ送信固定モードに戻ります。

パネルロックスイッチがONの場合はハードウェアロック状態で起動します。(*1)

サルボ送信固定モードは[SALVO]メニューの[MODE]設定にかかわらず常に継続的にサルボ送信を行えます。

入力ソースボタン1-16で最大16のサルボデータを送信可能です。サルボ送信固定モードではサルボデータの作成、編集はできません。

一旦MENU+入力ソースボタン2の長押しでクロスポイント切り替えに戻り[SALVO]メニューの[EDIT]で行ってください。

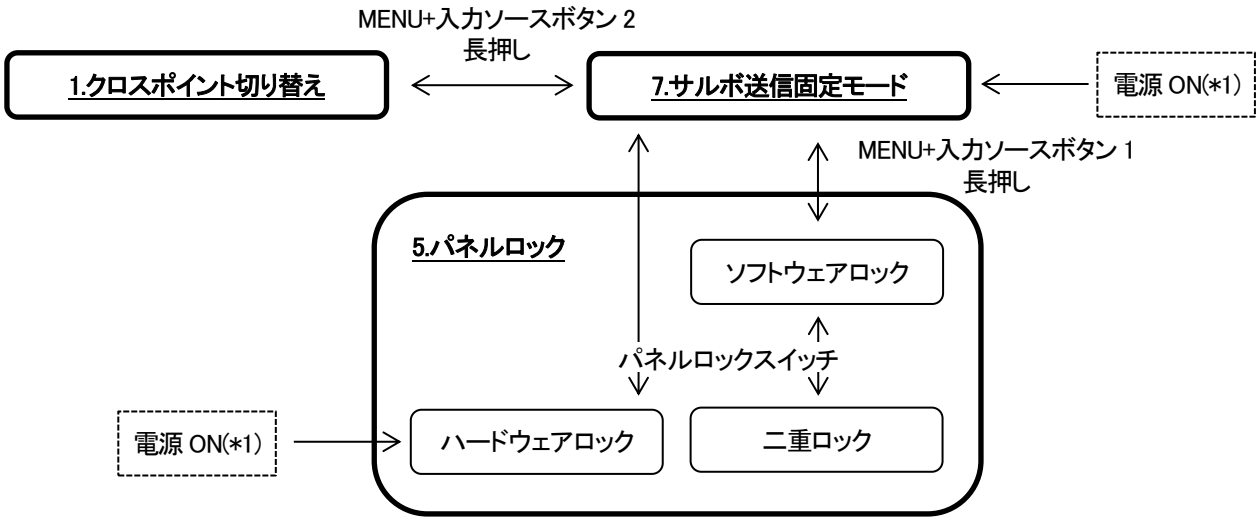


図 7 状態遷移図

5. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。
（文中の→は対処方法を示しています）

現 象　電源が入らない！

原 因　・本体背面の電源スイッチはON側になっていますか？
・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？
・本体のヒューズは切れていませんか？
→もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

現 象　STATSランプが赤色点滅している！

原 因　・マトリックススイッチャーとの接続、設定は正しいですか？
→MTX-70UP-321、MTX-70UP-161の[LAN]設定、[MTX TYPE]設定、Vbus筐体の設定を確認してください。

現 象　SNMP制御が効かない！

原 因　・マトリックススイッチャーの設定メニュー”SNMP”は”DISABLE”の設定になっていませんか？
→”REMOTE”または“LOCAL”に設定されていて有効になっていることを確認してください。

・ご使用しているLANケーブルはクロスケーブルですか？
→ハブを介さないでPCと直接LANケーブルで接続する場合はクロスケーブルを使用してください。

・Vbus70シリーズ筐体、およびSNMP制御アプリケーションのコミュニティ名の設定は正しいですか？
→コミュニティ名の工場出荷時設定は”VIDEOTRON”です。適切なコミュニティ名を設定してください。

・Vbus70シリーズ筐体のIPアドレスの設定は正しいですか？
→Vbus70シリーズ筐体の取扱説明書を参照し、IPアドレスを確認してください。

現 象　表示器の出力チャンネルの後ろに「＊」が表示され入力ソースボタンが反応しない！

原 因　・マトリックススイッチャーの設定でSNMPがDISABLEになっているまたはLOCAL/REMOTEに設定されているが無効になっている、アウトプットマッピングが変更されている、出力チャンネルが存在しない。
→マトリックススイッチャーの設定を確認してください。1BUS、2BUSでは出力チャンネル設定を確認し適切な出力チャンネルを設定してください。

現 象　表示器に【SALVO　F】と表示されて変更できない。

原 因　サルボ送信固定モードになっています。
→MENU+入力ソースボタン2の長押しでサルボ送信固定モードを解除して下さい。

6. 仕 様

1.機 能

【MTX-70UP-321】

クロスポイント設定	クロスポイントの切り換えのモードが以下の 3 種から選択できます。 ・1BUS MENU で設定した出力チャンネルのクロスポイントを入力ソースボタンで切り替えます。 MTX-70H-7272 制御時はページを選択して入力ソースボタンで切り替えます。 ・2BUS 1BUS とほぼ同様ですが 32 個の入力ソースボタンの上下段を分割し 2 つの出力チャンネルのクロスポイントを個別に切り替えます。MENU で 2 つの出力チャンネルを設定します。 ・DIRECT 選択 32 個の入力ソースボタンの上段を入力チャンネル、下段を出力チャンネルの選択に使用します。出力チャンネルを選択し、クロスポイントを入力ソースボタンで決定します。

【MTX-70UP-161】

クロスポイント設定	MENU で設定した出力チャンネルのクロスポイントを入力ソースボタンで切り替えます。 MTX-70H-7272 制御時はページを選択して入力ソースボタンで切り替えます。

【MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 共通】

複数台のクロスポイント切り替え	メインとなるマトリックススイッチャーと同一機種、同一設定のマトリックススイッチャーを 3 台(計 4 台)まで同時にクロスポイントを切り替えることができます。 ※ネットワークによる切り替えのため、数フレームの誤差があります。
STATUSランプ	マトリックススイッチャーと接続して、操作可能状態の時緑色に点灯します。操作不能の時、赤色点滅します。
LOCKスイッチ	MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 の操作を禁止します。
入力INHIBIT設定	指定した入力ソースボタンの操作を抑制できます。誤って他系統の入力を選択するのを防ぎます。
入力信号モニター機能	ボタンが点滅して入力信号が無くなったことを伝えます。(入力信号モニター機能搭載マトリックススイッチャー接続時)
プリセットの切り替え	16 種類のプリセットパターンを切り替えることができます。
サルボ機能	任意の複数出力チャンネルの入力を同時に切り替えることができます。

2.定 格

【MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 共通】

外部 I/F	
・ Ethernet	10/100BASE-T、 RJ45 1系統
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH（ただし結露なきこと）
電源	AC100～240V±10%、50/60Hz
消費電力	10VA (5V,2A)
質量	1.3kg
外形寸法	420(W)×44（H）×87(D)mm（突起物含まず）

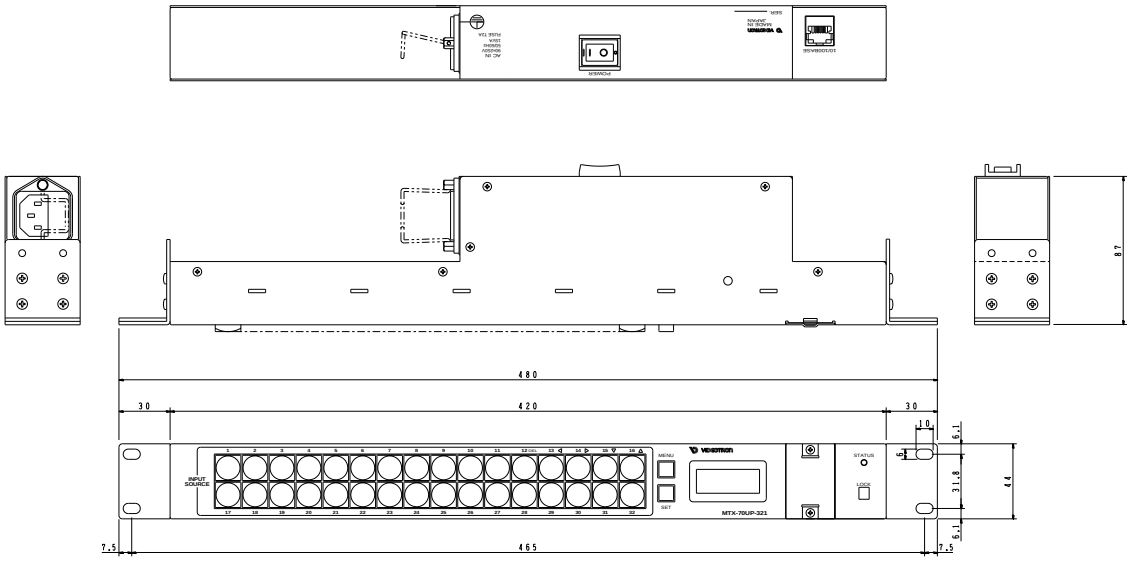
3.性 能

【MTX-70UP-321、MTX-70UP-161 共通】

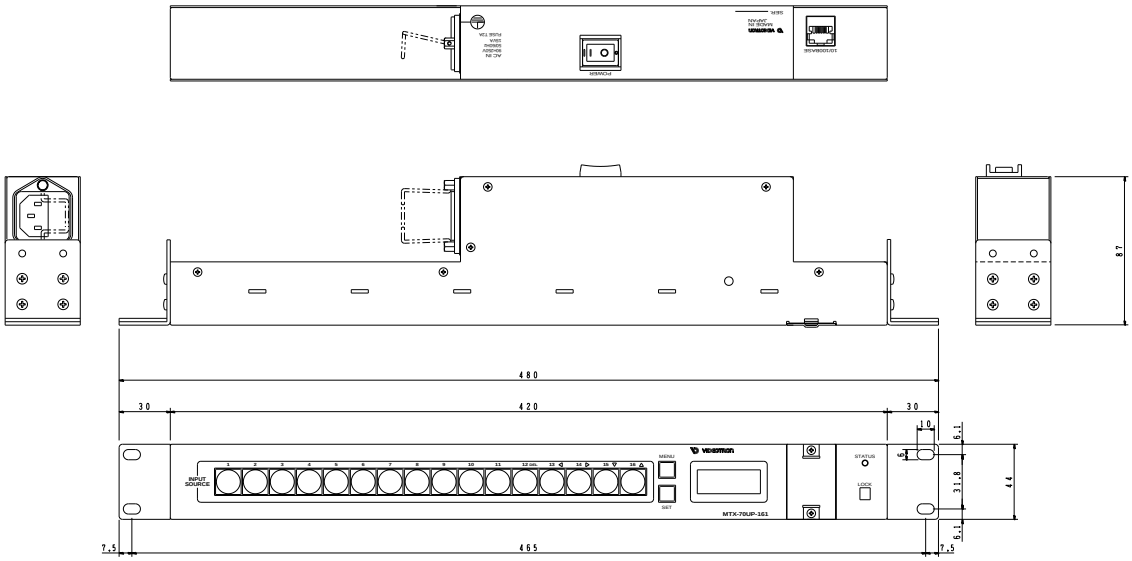
外部 I/F	
・ Ethernet	10/100BASE-T、 RJ45 1系統

7. 外形図

【MTX-70UP-321】



【MTX-70UP-161】



本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows 7®、Windows 8.1®、Windows 10®は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

無断転写禁止

・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
大 阪 営 業 所 TEL 06-6195-8741

ビデオトロン株式会社 E-Mail：sales@videotron.co.jp
本 社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト https://www.videotron.co.jp

102009R09

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。